

令和4年度第1回加賀市健康福祉審議会 議事録

【日 時】 令和4年12月20日（火） 午後2時～午後3時15分

【場 所】 加賀市役所 302会議室

【出席委員】 ◎谷本、○上棚、村上、川向、吉野、西野、山下、河崎、石川、宮崎、西出、前田（敬称略 ◎会長、○副会長）

【欠席委員】 沼田、久藤、宮永（敬称略）

【議事要旨】

1. 開会

- ・会長挨拶
- ・委員定数の過半数に達しているので会議は成立していることを報告

2. 委員及び事務局の紹介

- ・委員紹介
- ・事務局紹介
- ・市民健康部長挨拶

3. 副会長の選出

- ・上棚委員を副会長に選任

4. 議題

※審議事項の説明は、別紙資料のとおりとし、質疑のみの記載とする。

- (1) 加賀市健康福祉審議会及び加賀市健康福祉審議会条例等について（資料1）
諮問事項について（資料2）
- (2) 健康福祉審議会における令和4年度の施策について
 - ①再犯防止の推進について（資料3）
 - ②ひきこもり支援体制について（資料4）
- (3) 各分科会における令和4年度の施策について
 - ①高齢者分科会 （資料5）
 - ②障害者分科会 （資料6）
 - ③こども分科会 （資料7）
 - ④健康分科会 （資料8）

5. その他

6. 閉 会

- ・次回は3月に開催を予定していることを連絡

～質疑事項～

4. 議題

(2) 健康福祉審議会における令和4年度の施策について

①再犯防止の推進について

村上委員

成果目標について、政府目標に合わせて「再犯者数 20%減少」に設定したと思われるが、もう少し詳しい議論が必要ではないか。

事務局（福祉政策課長）

委員会では、個別の施策に対する目標設定も検討されたが、全体の成果目標の設定が必要であるという結論に達し、設定したものである。

村上委員

国や県が設定している 20%減少という目標の妥当性について委員会で検証した上で、改めて市の成果目標を設定した方が良いのではないかと思うので、委員会で検討していただきたい。

事務局（福祉政策課長）

いただいたご意見を参考に、委員会で検討してまいりたい。

村上委員

重点分野について、経済的に自立している人を前提としているなら問題ないが、その前段階の人に対しては社会的自立や日常的自立の支援が必要。そうしないと、就労支援などにうまくつながらないのではないかと懸念される。

事務局（福祉政策課長）

いただいたご意見を参考に、委員会で検討してまいりたい。

上棚委員

成果目標 20%は、どの程度難しいのか、何をしたらこの目標が達成されるのかなど、不明。数値化するより、どのような取り組みをして、その結果どうなるかといった具体的なことを示すべきでは。

事務局（福祉政策課長）

今回の資料では省略しているが、委員会では加賀市の再犯者数や状況などの詳細なデータをもとに具体的な施策について検討している。

いただいたご意見を委員会にお伝えさせていただく。

②ひきこもり支援体制について

上棚委員

医療機関に相談窓口の周知を、例えばパンフレットを作って周知してほしい。医療関係者は「ここに相談すればよい」というワンストップ窓口を望んでいる。引きこもり相談窓口であ

ることをわかりやすくした方が、より早く問題解決につながるのではないか。

事務局（相談支援課長）

「ひきこもり相談」ということを隠した方がいいのかを当事者と検討した結果、はっきり「ひきこもり相談」と明示した方がわかりやすいと意見があったので、明確にしながら窓口の周知をしてまいりたい。

相談支援課は18歳以上の相談窓口なので、まずは相談支援課に相談していただければ、ワンストップで対応する。

上棚委員

親を育てないと子供が育たない。まずは親の教育面を強化した方が良いと思う。

事務局（相談支援課長）

親も悩んでいるという話をよく聞くので、親同士の研修会や検討会の場を設けたいと考えているので、ご意見を参考にさせていただく。

川向委員

NHKだったと思うが、加賀市で引きこもりの支援をしている人を特集していた。とても表情豊かな男性で印象に残っている。そういう所と市が連携してさらに太い支援になれば良いと思う。テレビを見ていない人もいたので、もっとアピールして、加賀市にそういう場所があるという認識だけでも広がれば良いと思う。

事務局（相談支援課長）

検討会では、支援者側としてその団体のお話を聞かせていただいております、いつも連携させていただいている。相談体制も含めて周知していきたい。

村上委員

今回は実態把握が民生委員の調査だけだったが、不登校は直接学校から情報収集をした方が良いと思うが、今後そのような予定はあるか。

事務局（相談支援課長）

検討会でも不登校の話は出ているが、まずは18歳以上の相談体制を整えていく中で、教育委員会等と連携していきたいと考えている。具体的にはまだ進めていないが、検討委員と話し合いながら進めていきたい。

村上委員

不登校の統計は取っているのか。

事務局（市民健康部長）

不登校の統計は教育委員会で取っている。困り感のある人、引きこもりやヤングケアラーを入口とした、そのような人の困り感をどのように解決していくかという話になってくるので、実態を把握しながら進めてまいりたい。

(3) 各分科会における令和4年度の施策について

①高齢者分科会

村上委員

オンライン「通いの場」アプリについて、スマートフォンを利用できない高齢者もいる。スマートフォンの講習会や、高齢者がスマートフォンを持てるような補助金など、別途対策が必要だと思うが、そのような対策はおこなっているのか。

事務局（介護福祉課長）

加賀市ではスマートシティを推進しており、その取り組みの一環として、スマートフォン購入の際に高齢者一人につき5,000円の助成がある。

また、操作が難しい方に対しては、「スマホよろず相談所」で相談を受け付けている。

②障害者分科会

質疑なし

③こども分科会

村上委員

給食費の無償化について、来年度の予定は。

事務局（子育て支援課長）

来年度も継続しておこなう予定。

村上委員

報道では国からの補助金が財源だと思うが、予算はついたか。

事務局（子育て支援課長）

来年度予算についてはこれからだが、ご指摘のとおり今年度は国の補助金を財源としておこなっている。来年度も準備を進めている。

上棚委員

病児・病後児のケアが少ないので、充実させるべき。共働きが多いので、特にコロナなど感染症が流行ってくると家庭は大変。現状は働きにくい環境である。病児・病後児ケアが充実している市町はなかなかないので、加賀市が充実させて抜きん出るという考えはないか。

事務局（子育て支援課長）

医師会の先生に相談させていただきながら考えていきたい。

④健康分科会

質疑なし

5. その他

村上委員

オンライン会議やハイブリッド型会議を検討していただきたい。

事務局（福祉政策課長）

参考にさせていただく。